

第41回「知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」開催

平成31年4月13日（土）、ゆうちょ財団主催の「第41回 知的障がい者等に対する金融教育支援員セミナー」が、札幌市の「道民活動推進センター」かでの2・7を会場に開催されました。今回は、札幌市手をつなぐ育成会様にご協力いただきました。

本日のテーマは、「暮らし力を育む！お金で学ぶさんすう」で、講師は住山志津枝氏（FP／お金で学ぶさんすう®理事長）が務めました。

今回は、障がいのある方本人も多くご参加いただき、講師の質問に参加者が答えるという双方向性のほか、講師が与えたテーマについて、参加者が小グループで話し合うという参加型で進められ、終始和やかな雰囲気で行われました。

例えば、お金と包丁のスライドでは、「お金と包丁の役割は何か、共通するのは何か」という質問に、皆で話し合い、グループで出された意見を発表しました。

また、お金の計算とお金のやりくりの違いについて、料理を例に説明し、やりくり力を育てるための方法についても説明しました。

金銭感覚を育てる方法として、自転車の運転を例に挙げて説明しました。自転車の運転は、知らないからできない→知っていてもできない→意識すればできる→無意識にできる、という失敗を重ねながらステップを踏んでできるようになります。最初のうちは転んでも、いずれ運転できることがわかっているので、親も黙って見守っていることが多いですが、これをお金の使い方に代えると、「無駄遣いをして・・・」「そんなものばかり買って・・・」と親が注意をしがちです。そもそも無駄遣いとは、誰にとっての無駄遣いなのかということ、親の金銭感覚で注意をしていることに他なりません。

本日は、多くの事例を用いて分かりやすく、説得力のあるお話を聴くことができました。

参加者からは、「今日のお話を参考に、子どもに買い物を見せてみます」「子の金銭教育をどのようにすればいいのかわからなかったが、大変参考になりました」等々、多くの感想をいただきました。



今回は、新しい元号となって初めての開催で、令和元年6月15日（土）、名古屋市での開催となります。